

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年4月14日(2023.4.14)

【公開番号】特開2021-164616(P2021-164616A)

【公開日】令和3年10月14日(2021.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2021-050

【出願番号】特願2020-69926(P2020-69926)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月5日(2023.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定条件が成立することに基づいて、当たりとなるか否かの判定を行う遊技制御手段と

、
前記判定の結果を示唆する判定結果示唆演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊
技機において、

前記演出制御手段は、

所定のリーチ演出を実行した後に、前記所定のリーチ演出と異なる特別演出に発展可能
とし、

30

前記所定のリーチ演出にて、前記特別演出に発展する可能性を示唆する発展示唆画像と、
当たり期待度を示唆する期待度示唆画像とと一緒に表示可能とし、

前記期待度示唆画像の表示を終了させて、前記発展示唆画像の表示を継続させた場合に、
前記特別演出に発展させることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記発展示唆画像の表示を終了させて、前記期待度示唆画像の表示を継続させた場合に、
前記特別演出と異なる特定演出を実行可能とすることを特徴とする遊技機。

40

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記所定のリーチ演出にて、前記特別演出に発展する可能性を示唆する発展示唆演出を実
行可能とし、

前記発展示唆演出が実行された場合のほうが、前記発展示唆演出が実行されなかつた場合
よりも、前記期待度示唆画像の表示が終了されて前記発展示唆画像の表示が継続され易い
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、下記特許文献1に記載の遊技機のように、リーチが面白みに欠ける場合あり、この点に改良の余地がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

10

本発明の遊技機は、

所定条件が成立することに基づいて、当たりとなるか否かの判定を行う遊技制御手段と

、前記判定の結果を示唆する判定結果示唆演出を実行可能な演出制御手段と、を備える遊技機において、

前記演出制御手段は、

所定のリーチ演出を実行した後に、前記所定のリーチ演出と異なる特別演出に発展可能とし、

前記所定のリーチ演出にて、前記特別演出に発展する可能性を示唆する発展示唆画像と、 20
当たり期待度を示唆する期待度示唆画像とと一緒に表示可能とし、
前記期待度示唆画像の表示を終了させて、前記発展示唆画像の表示を継続させた場合に、
前記特別演出に発展させることを特徴とする遊技機である。

20

30

40

50